



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 水道機工株式会社

コード番号 6403 URL <https://www.suiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角川 政信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 石井 克昌 TEL 03-3426-2131

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,656	15.6	△347	—	△418	—	△308	—
2019年3月期第2四半期	5,757	17.2	△263	—	△285	—	△203	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △337百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △183百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△71.83	—
2019年3月期第2四半期	△47.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	19,526	10,691	54.8	2,492.96
2019年3月期	23,137	11,243	48.6	2,621.67

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,691百万円 2019年3月期 11,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	20.2	1,350	27.9	1,330	46.1	850	44.3	198.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,295,968株	2019年3月期	4,295,968株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,309株	2019年3月期	7,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,288,659株	2019年3月期2Q	4,288,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料（添付資料を含む。以下同様）に掲載されている予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響から輸出面での弱さが長期化し、企業活動に慎重な姿勢が見られ始めたものの、緩やかに回復して参りました。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画(2017年度～2019年度)の最終年度である当期において、水道分野での大規模更新や運転管理委託ニーズに対応した事業提案の継続、並びに下廃水市場での事業拡大に努めて参りました。一方、働き方改革を意識し、従業員の休暇取得促進施策の推進により一層働きやすい職場づくりにも積極的に取り組んで参りました。

当第2四半期連結累計期間の業績に関し、受注高は、グループ全体で143億13百万円(前年同期比50.8%増)と前年同期比で大幅な増加となりました。主な要因は、上下水道事業における水道分野での浄水場建設案件の新規契約締結や複数年での運転管理委託契約の更新案件数の増加によるものです。

売上高は、グループ全体で66億56百万円(前年同期比15.6%増)と前年同期比で増加となりました。主な要因は、下廃水案件での出来高進捗に伴う売上高増加、並びにメンテナンス案件及び運転管理委託案件での売上高増加によるものです。

損益の状況については、上下水道事業における運転管理委託案件でのコスト増加に伴う売上総利益の減少、並びに販売費及び一般管理費における開発費増加等により、営業損失3億47百万円(前年同期は営業損失2億63百万円)、経常損失4億18百万円(前年同期は経常損失2億85百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失3億8百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億3百万円)となりました。

なお、当社グループ主力の水処理事業の特徴としては、売上計上が第4四半期連結会計期間に集中する傾向がある一方、販売費及び一般管理費等は各四半期における変動が少ないことから、利益についても売上高と同様に第4四半期連結会計期間に偏重する傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ36億10百万円減少し、195億26百万円となっております。主な要因としては、前期末の売上債権の回収に伴い受取手形及び売掛金が35億88百万円、流動資産のその他が3億79百万円の減少となる一方、仕掛品が2億89百万円増加したことによるものです。

負債は、前期末に比べ30億58百万円減少し、88億35百万円となっております。主な要因としては、仕入債務の支払いにより支払手形及び買掛金が26億78百万円、納税に伴い未払法人税等が1億82百万円、流動負債のその他が2億7百万円減少したことによるものです。

純資産は、前期末に比べ5億52百万円減少し、106億91百万円となっております。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払いにより、利益剰余金が5億22百万円減少したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には78億27百万円(前期末比0.0%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期と比較して11億50百万円増加し、3億18百万円の収入となりました。主な要因は、売上債権の減少による収入35億88百万円、前受金の増加による収入7億21百万円があった一方、仕入債務の減少による支出26億78百万円、たな卸資産の増加による支出3億1百万円、税金等調整前四半期純損失4億18百万円、預り金の減少による支出5億15百万円、並びにその他の流動負債の減少による支出3億42百万円があったこと等によるものです。

なお、当社グループにおいては、案件毎に契約金額規模等が異なるため、支払状況や入金状況により連結会計年度毎に大きな増減があります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期と比較して1億87百万円増加し、1億10百万円の支出となりました。主な要因は、前年同期の貸付けによる支出2億72百万円が無くなった一方、有形固定資産の取得による支出73百万円があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期と比較して1億64百万円減少し、2億14百万円の支出となりました。主な要因は、短期借入金の純増額が無くなったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想(連結)につきましては、2019年5月9日付公表の予想から修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,706	3,005
預け金	2,131	4,832
受取手形及び売掛金	7,498	3,910
商品及び製品	5	5
販売用不動産	28	27
仕掛品	189	478
原材料	323	337
その他	2,193	1,814
貸倒引当金	△250	△247
流動資産合計	17,827	14,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	966	955
機械装置及び運搬具(純額)	91	91
土地	854	854
その他(純額)	35	50
有形固定資産合計	1,947	1,951
無形固定資産	110	100
投資その他の資産		
投資有価証券	1,643	1,550
その他	1,607	1,760
投資その他の資産合計	3,251	3,310
固定資産合計	5,309	5,362
資産合計	23,137	19,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,198	2,519
短期借入金	495	482
未払法人税等	242	60
引当金	260	235
その他	3,192	2,984
流動負債合計	9,389	6,282
固定負債		
退職給付に係る負債	2,428	2,471
引当金	73	78
その他	2	2
固定負債合計	2,504	2,552
負債合計	11,893	8,835
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,947	1,947
資本剰余金	1,537	1,537
利益剰余金	7,611	7,089
自己株式	△9	△9
株主資本合計	11,087	10,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	241
為替換算調整勘定	152	121
退職給付に係る調整累計額	△253	△236
その他の包括利益累計額合計	156	126
純資産合計	11,243	10,691
負債純資産合計	23,137	19,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,757	6,656
売上原価	4,776	5,712
売上総利益	981	944
販売費及び一般管理費	1,244	1,291
営業損失(△)	△263	△347
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	11	14
為替差益	34	—
持分法による投資利益	26	—
その他	2	4
営業外収益合計	82	20
営業外費用		
支払保証料	12	16
為替差損	—	22
持分法による投資損失	—	31
貸倒引当金繰入額	87	—
その他	4	21
営業外費用合計	104	91
経常損失(△)	△285	△418
税金等調整前四半期純損失(△)	△285	△418
法人税等	△81	△110
四半期純損失(△)	△203	△308
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△203	△308

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△203	△308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△15
繰延ヘッジ損益	△0	—
退職給付に係る調整額	14	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△30
その他の包括利益合計	20	△29
四半期包括利益	△183	△337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183	△337
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△285	△418
減価償却費	46	51
貸倒引当金の増減額(△は減少)	103	△3
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△45	3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42	68
受取利息及び受取配当金	△19	△15
為替差損益(△は益)	△32	27
持分法による投資損益(△は益)	△26	31
売上債権の増減額(△は増加)	3,512	3,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	△310	△301
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,979	△2,678
前受金の増減額(△は減少)	725	721
預り金の増減額(△は減少)	△254	△515
未収消費税等の増減額(△は増加)	△165	325
未払消費税等の増減額(△は減少)	△596	△53
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△246	31
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△164	△342
その他	4	26
<b>小計</b>	<b>△682</b>	<b>551</b>
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	△4	△8
法人税等の支払額	△160	△240
法人税等の還付額	0	0
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△831</b>	<b>318</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△13	△73
無形固定資産の取得による支出	△6	△22
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△272	—
敷金の差入による支出	△1	△10
敷金の回収による収入	1	1
その他	△0	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△298</b>	<b>△110</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	143	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△192	△214
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△49</b>	<b>△214</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,179	△6
現金及び現金同等物の期首残高	8,366	7,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,187	7,827

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。